

ほやほや

福井赤十字病院

理念 人道・博愛の精神のもとに、県民の求める優れた医療を提供します。

基本方針 ◎患者様の人権と意思を尊重し、相互理解に基づく医療を遂行します。

◎医療の質の向上に努め、良質な医療を提供します。

◎地域医療機関との連携を推進し、一貫した医療の提供に努めます。

特集

「胸痛について」～胸が痛くなったら～

循環器科医師から



部長 下條 途夫



部長 吉田 博之



副部長 坪川 明義



医師 松久 誠治

循環器科の外来には毎日必ずといっていいほど胸が痛いと訴えて受診される患者様がいらっしゃいます。胸痛の原因には

様々な疾患が考えられ、胸痛があるからといって必ずしも狭心症・心筋梗塞であるとは限りません。今回は胸痛を惹き起こす代表的な疾患についての簡単な胸痛の鑑別ポイントについてお伝えしたいと思います。

1) 狭心症・心筋梗塞の症状

狭心症・心筋梗塞は、どちらも典型的な症状は胸全体が締めつけられたり、押さえつけられたように痛みます（若い女性の方がよく訴えられるチクチクした胸痛とか、痛みの場所を指し示すことができる胸痛などは狭心症・心筋梗塞の症状とは考えにくいです）。ときには冷汗を伴うこともあり、左肩、左上肢、あごやのどなどに痛みが放散することがあります。

持続時間は、狭心症の場合は1時間以上続き徐々に呼吸困難や悪心・

嘔吐などが出現してきます。上記のような症状がありましたら必ず病院を受診してください。特に40～70代の男性で糖尿病、高脂血症、肥満、喫煙などの危険因子を持っておられる方は注意してください（当院で心臓カテテル検査にて狭心症・心筋梗塞の治療をされた患者様の平均年齢は67歳で男性の方が75%を占めています）。

狭心症・心筋梗塞を発症しやすいときの例



2) 解離性大動脈瘤の症状

解離性大動脈瘤は、石原裕次郎さん(故人)がかかったことで有名な病気です。症状は心筋梗塞と似てはいますが、もっと強烈な、持続する胸痛、背部痛で発症することが多く、“引き裂かれるような痛み”とか“焼けるような痛み”と訴えられる患者様もいます。



3) 消化器疾患の症状

消化器疾患で狭心症・心筋梗塞の症状と紛らわしい症状を訴える疾患には逆流性食道炎、胃・十二指腸潰瘍、胆石などがあります。空腹時や脂っこい食事をした後に、胸やけや心窩部痛(みぞおちの痛み)があつたり、水を飲むと症状が改善したりするとこのような疾患を疑うようになります。胃・十二指腸潰瘍、胆石では上腹部に圧痛を伴うことが多くあります。



4) 呼吸器疾患の症状

呼吸器疾患で胸痛を訴える疾患には気胸、肺炎などがあります。突然発症する呼吸困難が典型的で、胸痛はあまり強くないことがあります。肺気腫・肺線維症などの基礎疾患がある方や若い痩せた男性の方に多く発症します。肺炎に伴う胸痛は肺の炎症が胸膜(肺を包んでいる膜)にまで及んでしまい、胸膜炎を併発したときに起きやすくなります。多くは発熱を伴い、胸痛は呼吸により増悪します。



以上代表的な疾患の胸痛の特徴を述べさせていただきましたが、他にも胸痛を惹き起こす疾患はいろいろありますので、ご心配なときには循環器科を受診してください。循環器科では、胸痛の性状、部位、持続時間、随伴症状などの詳細な問診をさせていただき、胸部レントゲン写真、安静時心電図、運動負荷心電図、心臓超音波検査、24時間ホルター心電図などの検査を施行し診断いたします。

トピックス

SARS訓練開催後記

9月10日、新型肺炎(SARS)が発生した場合に備えた訓練が感染症指定医療機関となっている福井県立病院と当院で行われました。県が新たに導入したウイルスを外部に漏らさないカプセル型搬送台車(アイソレーター)と搬送車を使い、SARS患者を当院から県立病院まで移送する訓練を実施しました。訓練は予定通り、約2時間で終了しました。感染病棟を担当する近藤文子看護師長は「患者様はたったひとりでも、感染予防という点から非常にたくさんの人の手が必要な搬送です」と取り組みに大変前向きです。



市民公開講座開催後記

8月23日(土)に「第9回福井赤十字病院市民公開講座」を開催しました。

今回は「空飛ぶ町医者の楽しく老いるヒント」というテーマで、講師に藤井医院(三国町)の藤井康広先生をお迎えしてお話を伺いました。講演内容は、適切な退院後の療養生活を送るための、在宅医療のあり方やサービスの上手な利用方法とともに、かかりつけ医を持つことの大切さについてお話されました。ビデオを見ながら楽しく、またわかりやすく、ためになるお話を聞かせていただきました。講演終了後には、今回の先生のように元気の出てくる講師を選んでほしいとのご要望もありました。当日は三国町の方々はもちろん、遠くは嶺南からもお越しいただき、多数の参加でたいへんご好評をいただきました。



次回、11月に予定しておりました市民公開講座につきましては、諸般の事情により開催を延期せざるを得なくなりました。たいへんご迷惑をおかけしますが、ご了承下さいますようお願い申し上げます。開催日程が決まり次第、改めてご案内申し上げます。

【お問合せ先：企画課】

部門紹介 栄養課

栄養課長 上田久代



栄養課は、管理栄養士7名、調理師20名、事務職員2名の総勢29名が働いています。1日に提供する平均延べ食数は1,375食。医師の指示箋に基づき、入院中の患者様の1日も早いご回復を願って日々のお食事を提供しています。入院中の患者様に季節を感じていただきたいと“行事食”でおもてなし。「明日はどちらを食べようかな?」と選ぶ楽しみを持っていただけるように“選択メニュー”を行っています。

管理栄養士は、医師の指示箋に基づき、通院・入院中の患者様に個人栄養食事指導と集団栄養食事指導を行っています。『医食同源』、今一度ご自分の食生活をチェックしてみませんか?管理栄養士がお手伝いさせていただきます。お気軽にお申し出ください。また、下記の疾患別集団指導教室も開いていますので、外来受付または病棟看護師にお尋ねください。



バイキング教室

教室名	対象者	場所	実施日	時間
糖尿病教室	入院・外来患者様	栄養管理棟 2階研修室	月2回 (1コース5日間)	13:30 ~14:30
バイキング教室	入院・外来患者様	栄養管理棟 2階研修室	月1回 指定の金曜日	11:30 ~12:45
腎不全教室 (調理実習も含む)	入院・外来患者様	栄養管理棟 2階研修室	月2回 第1、2木曜日	15:00 ~16:30
クリアランス教室	入院患者様	担当病棟	指定の木曜日	13:30 ~14:00
母親教室	外来患者様	担当病棟	月1回 第1土曜日	13:30 ~14:00
離乳食教室	外来患者様	栄養管理棟 2階研修室	月1回 第2金曜日	13:30 ~14:30

行事予定10・11・12月分

●家庭看護法介助員養成講習(4日間)

日時&内容：11月 8日(土)「自立を目指して・身体の移動・車椅子での移動」
 : 11月15日(土)「衣服の着脱の介助・食事の介助・身体の拭き方」
 : 11月22日(土)「洗髪・便器・尿器の使い方・オムツのあて方」
 : 11月29日(土)「痴呆性老人の理解」 9:30~16:30

会場：日本赤十字社福井県支部3階大会議室

参加費用：1,000円(お申し込みは、医療社会事業部または看護部まで)

●救急法救急員養成講習会(3日間)

日時：11月5日(水) 6日(木) 7日(金) 9:30~16:30

内容：①赤十字救急法について ②心肺蘇生法(気道確保・人工呼吸・心臓マッサージ) ③傷と止血
 ④包帯(保護ガーゼ・包帯・三角巾の使用法) ⑤骨折・脱臼・捻挫など ⑥急病 ⑦運搬 ⑧救護

会場：日本赤十字社福井県支部3階大会議室

参加費用：3,000円(お申し込みは、医療社会事業部または看護部まで)

●クリスマスコンサート 12月中旬頃開催予定

●キャンドルサービス 日時：12月24日(金) 17:30~ 本館より各病棟をまわります。



年末・年始(12/27~1/4)の診療案内

12月27日(土) 休診 29日(月) 休診 31日(水) 午前中、通常どおり 1月1日(木) 休診 3日(土) 休診
 28日(日) 休診 30日(火) 休診 外来診療致します。 2日(金) 休診 4日(日) 休診

「脳卒中特殊治療外来」開設のお知らせ

当院はこの度平成15年10月から「脳卒中特殊治療外来」を脳神経外科外来の金曜日午後に開設しました。

脳卒中とは脳内出血、脳梗塞、脳動脈瘤、くも膜下出血、など頭蓋内の血管に起こる病気の総称です。脳卒中は重篤な後遺症を残すため、社会的に予防の必要性が強調されており、発症後は早期での適切な治療が重要な病気です。患者様やご家族の方にもしっかりと病気についてご理解いただけるよう患者様に合わせた説明と治療を行うことを重視しております。

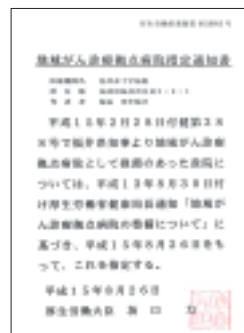
この外来は時間に余裕を持って対応するためすべて予約制ですので、まずは脳神経外科外来にご相談下さるようお願いいたします。



地域がん診療拠点病院に指定されました！

当院は平成15年8月26日付けで厚生労働大臣から「地域がん診療拠点病院」に指定されました。このことは我が国に多いがん（肺がん、胃がん、大腸がん、肝がん、乳がん等）について、地域の皆様が質の高いがん診療を受けることができる体制を確保するため、その中心的役割を担う病院として位置付けられたこととなります。

今後も継続的に全人的ながん診療を患者様に提供するため、地域の医療機関との連携を図りながら、がん医療に関する研修の開催や情報提供などを行い、医療の質の向上に努めてまいります。



～御 礼～

新本館建設に対し多方面から心暖まるご援助をいただき、まことにありがとうございます。平成15年9月現在で、総額2億7千万を超えるご寄付をいただきました。念願の新本館建設は、平成16年3月の開院をめざして順調に進められています。今後も職員一同、病院を利用される方々を中心とした医療の質の向上に努めてまいります。

◀平成15年10月現在の新本館建設状況

編集後記

食欲の秋（最近はいろいろキノコがありますよねえ～）、スポーツの秋（福井マラソンで体感しました）、行楽の秋（紅葉はそろそろかなあ～）、読書の秋（縁がないなあ～）……。いろんな秋の楽しみ方があると思いますが、みなさまにとって秋はどんな季節でしょうか？私にとっては、来たるべくスキーシーズンの到来を待ちわびる季節です。

朝夕の冷え込みがキツクなってきました。健康には十分気をつけましょう。

広報委員 M.A

☆ご意見・ご感想は広報委員会事務局（総務課）まで。

「ほやほや」第6号 2003.10発行 広報委員会

〒918-8501 福井市月見2丁目4番1号
TEL.0776-36-3630 (代) FAX.0776-36-4133
URL: <http://www.fukui-med.jrc.or.jp/>
E-mail: webmaster@fukui-med.jrc.or.jp